



港区新橋5-15-5 国鉄労働組合中央本部 03-5403-1640 発行人 松川 聡 編集責任者 瀧口良二 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

月間 9・13 百歳以上の高齢者が7万人突破、平成の30年間で23倍に▽韓国、日本離れが進み、旅行中止7割 9・14 サウジ石油施設無

人機攻撃、米はイラン関与指摘 イラン政府は否定 9・19 東電旧経営陣3人無罪、福島第一原発事故東電地裁判決▽ゲノム食品表示義務なし、年内に流通 9・23 韓国検察がチヨグク法相自宅を家宅捜索 9・25 日米貿易協定締結

結、米農産物を7800億円開放▽台湾15号による瓦屋根修理費を国費支援決定 9・27 関西電力経営トップ20人が福井県高浜町元助役から3億2千万円の金品受領、原発マネーを還流 10・1 消費税率10%に個人課税、法人税率変わらず

10・4 臨時国会召集、安倍首相は所信表明演説で「改憲論議は国民への責任」 10・8 あいちトリエンナ10で「表現の不自由展」が再開、補助金は不交付 10・9 ノーベル化学賞に吉野彰氏、旭化成でリチウムイオン電池開発

お知らせ JAL本社大包围行動 ◎と き 12月9日(月) 18時30分〜19時30分 ◎ところ JAL本社 りんかい線・モノレール 「天王洲アイル駅」徒歩5分

10月1日に消費税が10%に引き上げられた。平成元年に消費税が導入され、財政再建や社会保障費の財源確保などを理由に段階的に引上げられ、消費税導入から31年が経過した。消費税3%から5%・8%・10%への段階的な増税がもたらしたものは何なのか▼貧困と格差の拡大に追い打ちをかけ、総務省家計調査では、2014年の8%増税を機に家計消費は20万円以上、実質賃金は年15万円以上落ち込んでいる。さらに年金は減らされ、医療費窓口負担は3倍となり社会保障切り下げが続いている。10月1日発表の日銀短観では大企業の製造業の景気判断指数は3期連続で悪化し、10月7日発表の景気動向指数においても悪化している▼一方で、財務省法人企業統計では、2012年度から18年度にかけて大企業の内部留保は約116兆円増加している。消費税増税のたびに法人税を減税し、大企業や富裕層を潤すだけになっている。消費税増税が、法人税の穴埋めに使われてはまったものではない。税負担を国民に求める以上、社会保障の充実につながるために、消費税の使途を明確にさせなければならぬ▼台風15号に続いて台風19号が日本列島を直撃した。東日本各地で記録的な大雨となり、7県の55河川79ヶ所(10月16日現在)で堤防が決壊し、200河川以上で氾濫した。一瞬にして日常を破壊する自然災害を前に人類の無力さを禁じ得ないが、1日も早い日常が戻ることを願ってやまない。(木)

# 交運労協第35回定期総会

## 「連携・協働・共創」を確認

全日本交通運輸産業労働組合協議会第35回定期総会が10月3日に「全日通震が関心」にて開催され、2020年活動方針・総会宣言が満場一致で採択された。

住野敏彦議長(私鉄総連)は主催者挨拶で、「7月から9月に発生した台風では、家屋の倒壊や大規模停電など、各地に甚大な被害をもたらした。改めて、被災された方々へのお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い復旧・復興を



主催者挨拶を行う住野議長

お祈りしたい」「7月の参議院選では戦後2番目の低い投票率となった。子育てや社会保障に対する具体的な見えないなかつた。格差が拡大する中、温かみのある政治が求められている。明日4日から国会が始まるが、次の選挙に向けてしっかりと取り組みたい」

「交通運輸産業は慢性的な人手不足、低賃金・長時間労働という中で交運労協65万人のスケールメリットを活かし、実効性のある取り組みをしたい。また、来年4月には中小企業にも適用される時間外労働の上限規制は、労使交渉の積み重ねが大事であり、魅力ある労働環境作りに向け、現状維持ではなく山積する政策課題に向け一丸となって取り組み」と挨拶した。

来賓挨拶では、相原康伸(連合事務局長)、山田雅彦(厚労省政策立案総括審議官)、瓦林康人(国交省公共交通・物流政策審議官)、福山哲郎(立憲民主党幹事長)、玉木雄一郎(国民民主党代表)、吉田忠智(社民党選挙対策委員長)が挨拶を行い、交運労協政策推進

議員懇談会からは、近藤昭一(会長)、赤松広隆(顧問)、辻元清美(事務局長)、泉健太郎(事務次長)、松田功榮(幹事)及び、7月の参議院で当選した、森屋隆、岸真紀子参議院議員が紹介された。

高松伸幸事務局長より、2019年活動報告、2020年活動方針(案)、慶島護治事務局長より、2019年決算報告、2020年予算(案)が満場一致で採択された。

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会と安倍9条改憲NO!全国市民アクションの共催による、「消費税増税絶対反対!大軍拡予算反対!韓国敵視を煽るな!改憲発議許すな!辺野古新基地建設は断念を!」10・4臨時国会開会日行動が、第200回臨時国会開会の10月4

日に衆議院第2議員会館前で開催され、労働者・市民450人が参加した。主催者を代表して挨拶した藤本泰成さん(戦争させない1000人委員会)は、関電幹部の原発マネー還流、南シナ海での自衛隊と米軍の合同軍事演習、日韓関係の悪化、幼保無償化における朝鮮学校除

# 第18回全国運輸交流会開催

国労運輸全国連絡会は9月23日に第17回総会を開催し、引き続き24・25日第18回全国運輸交流会を熱海で開催した。当日は北海道から九州まで34の運輸区所から41名の仲間が集った。

交流会では中央本部の佐々木執行副委員長から「全国大会報告」「職場を取り巻く情勢」「労働組合本来の役割を果たすために」と多くの問題提起を受けた。

委員長から「東日本本社における労働組合の現状」「労働組合不要論が横行するなかでの会社政策の問題点」が報告された。

分散会では(1)ATO(自動列車運転)の事故をもとに今後JR各社で運行されること

を予測し、現存する線区での自動運転について、安全輸送を守る立場からの問題点について。(2)本年4月に施行された8本の「働き方改革関連法」の一つである「勤務間インターバル」について、この法律の主旨である「健康に働く」為の我々の勤務間インターバルは何時間なのか。(3)昨年の交流会で西日本から報告された「待機を命じられた中で、弁当を食べた時間を30分カット」



第18回全国運輸交流会

論された。毎年今年が最後の訴えと言いつつ、今年も後を引いていく。JAL原告団の小栗さんから、「次回は解決の報告にまます」と力強い訴えを受け、会場カンパを手渡すことが出来た。2日間という短い時間での交流会であったが、例年になく中身の濃い議論が行われたと同時に、来年の第19回全国運輸交流会まで沢山の課題を確認し散会した。

2019年エリア・地方本部執行部体制

北海道本部

第34回定期大会(9月8日)
執行委員長 伊藤 正則
執行副委員長 島見 佳法
書記長 菊地 宏之
執行委員 岩村 儀一
執行委員 能瀬 明
執行委員 越前 克己
執行委員 高岸栄太郎
執行委員 山口 鈴彦
執行委員 遠山 伸治
執行委員 佐藤 房枝
女性部長 佐藤 房枝

秋田地方本部

第74回定期大会(10月5日)
執行委員長 佐藤 浩一
執行副委員長 高橋 毅
書記長 宇佐美久蔵
執行委員 小嶋 敏明
執行委員 高橋 芳美
執行委員 加賀谷章夫
執行委員 宮崎 和孝
執行委員 後藤 重文
特別執行委員 高橋 英樹

東日本本部

第33回定期大会(8月24日)
執行委員長 大沼 元
執行副委員長 渡辺 信之
書記長 伊藤 隆夫
執行委員 武田 幸喜
執行委員 常盤 達雄
執行委員 佐藤 治
執行委員 彦田 貴弘
執行委員 中谷 慎一
執行委員 中村賢太郎
執行委員 塩澤 富世
執行委員 小向 清樹
執行委員 飯島 英樹

新潟地方本部

第72回定期大会(9月21日)
執行委員長 清野 聡
執行副委員長 藤井 明人
書記長 福富 雅彦
執行委員 荒井 聡
執行委員 羽豆 一幸
執行委員 加藤 秀夫
執行委員 新野 徹
執行委員 長谷川正志
特別執行委員 佐藤 昌典
特別執行委員 岡 聡
特別執行委員 鷲尾 太郎
執行委員 木村 伸一

盛岡地方本部

第75回定期大会(10月5日)
執行委員長 沢田 光広
執行副委員長 佐々木政志
書記長 巖岩 哲彦
執行委員 菊池 要悦
執行委員 及川 孝
執行委員 横内 俊博
執行委員 佐々木研司
特別執行委員 田崎 秋弘
特別執行委員 齋藤 庄司
特別執行委員 佐々木 力
特別執行委員 小笠原勝豊
執行委員 淡路 明則
執行委員 沖田 司男
執行委員 木村 忠義

水戸地方本部

第71回定期大会(10月19日)
執行委員長 久保田重明
執行副委員長 塙 正人
書記長 赤沼 廣行
執行委員 大賀 泰男
執行委員 泉 秀俊
執行委員 黒澤 一文
執行委員 坂下 司
執行委員 大津 勝
執行委員 塩澤 富世
執行委員 大貫 洋一

千葉地方本部

第73回定期大会(10月5日)
執行委員長 樺尾 智
執行副委員長 井村 好博
書記長 安田 正浩
執行委員 加藤 晃一
執行委員 北嶋 利則
執行委員 飯高 聡明
執行委員 島崎 良男
執行委員 宮負 寧

東京地方本部

第70回定期大会(9月15日)
執行委員長 鎌田 博一
執行副委員長 山田 博樹
書記長 石井 正彦
執行委員 田中 克幸
執行委員 佐藤 敏幸
執行委員 横倉 一夫
執行委員 矢部 雄一
執行委員 高瀬 弘人
執行委員 松田 恭明
執行委員 吉田 茂
執行委員 森 真次
執行委員 西尾 一登

東海本部

第34回定期大会(8月7日)
執行委員長 上野 力
執行副委員長 木村 智之
書記長 渡邊 和久
執行委員 北山 雅人
執行委員 一柳 弘一
執行委員 篠崎 昭泰
執行委員 寺崎 浩
執行委員 池田 卓司
執行委員 高木 亨
執行委員 坂下 智康
執行委員 大橋 弘一
執行委員 市岡ひとみ

新幹線地方本部

第20回定期大会(9月13日)
執行委員長 山崎 明彦
執行副委員長 佐藤 健二
書記長 森 和浩
執行委員 竹井 陽一

名古屋地方本部

第75回定期大会(9月8日)
執行委員長 土谷 敏幸
執行副委員長 岩田 朋之
書記長 鶴山 章
執行委員 浅野 輝己

西日本本部

第33回定期大会(8月9日)
執行委員長 森田 文一
執行副委員長 藤野 能章
書記長 中野 健二
執行委員 植田 重信
執行委員 倉下 文明
執行委員 新田 敏雄
執行委員 片岡 有宏
執行委員 中本 博次
執行委員 大和 忠昭
執行委員 大北 真也
執行委員 福井 和義
執行委員 岡出 智浩

静岡地方本部

第74回定期大会(9月13日)
執行委員長 若原 淳一
執行副委員長 塩澤 好彦
書記長 植田 誠
執行委員 池谷 論
執行委員 柴田 研悦
執行委員 浦田 浩幸
執行委員 竹野 洋一
執行委員 小川 敏広
執行委員 野田 博明
執行委員 長岡 公次
執行委員 工藤 拓真

北陸地方本部

第76回定期大会(8月31日)
執行委員長 羽柴 二郎
執行副委員長 山口 雅幸

近畿地方本部

第16回定期大会(8月24日)
執行委員長 西園 重美
執行副委員長 野々口善之
書記長 有田 修
執行委員 林 昭男
執行委員 東 幹男
執行委員 小西八十四
執行委員 若木 慎吾
執行委員 西澤宋司郎
執行委員 江口 芳生

米子地方本部

第72回定期大会(8月18日)
執行委員長 倉下 文明
執行副委員長 藤江 美男
書記長 浅井 浩二
執行委員 安達 晴彦
執行委員 森脇 準
執行委員 吾郷 隆志

岡山地方本部

第81回定期大会(9月14日)
執行委員長 後藤 利明
執行副委員長 三宅 明
書記長 天野 伸行
執行委員 片岡 有宏
執行委員 高見 光彦
執行委員 青山 准三
執行委員 關争委員(第二) 渡辺 純雄
執行委員(第三) 三好 教弘
執行委員 岡本 岩夫
執行委員 西原 浩
執行委員 勝田 哲也

広島地方本部

第75回定期大会(8月24日)
執行委員長 福田 正昭
執行副委員長 沖川 稔
書記長 徳永 聖
執行委員 長尾 保宏
執行委員 田中 活
執行委員 福本 正彦
特別執行委員 中野 健二
執行委員 峰岡 敏夫
執行委員 石井 雅也

四国本部

第33回定期大会(8月27日)
執行委員長 立花 浩二
執行副委員長 藤井 浩
書記長 大江 康昭
執行委員 小川 都重
執行委員 綾 与利男
執行委員 寺井 彰浩
執行委員 木原 笹之
執行委員 宮本 和幸
執行委員 梶原 剛
執行委員 山下 力

九州本部

第35回定期大会(8月29日)
執行委員長 千々岩 隆
執行副委員長 古賀 正弘
書記長 岩元 孝信
執行委員 西山 泰三
執行委員 原田 浩幸
執行委員 水原 彰
執行委員 岩崎 等
執行委員 荒島 武聖
執行委員 大仁田 豊

第34回全貨協定期委員会 要求前進に向け、拡大運動強化

国労全国貨物協議会は10月5日、新橋・交通ビルにおいて、第34回定期全国委員会を開催した。委員会議長には、名古屋選出の大金委員を選出し、各委員から、この一年間の闘いの総括と2019年度活動方針(案)について発言を受け、眞田議長の後、活動方針を全体の拍手で採択した。

中央本部を代表して、佐藤書記長は「台風による自然災害など近年被害が増加しており、千葉等に於いては組合員の被害について集約中である。全国大会では、5年ビジョンや組織拡大について議論した。国鉄世代から運動の継承が課題であり、組織拡大が重要な課題である。職場から国労運動を広げ、本部も貨物協と共に奮闘すると挨拶した。木村事務局長より、2018年度経過報告及び2019年度活動方針案の提案がされ、全体討論に入った。委員の発言要旨は「春闘の取り組み」「アセスメント問題」「車両所の建替について」「コンプライアンス



第34回全貨協定期委員会で挨拶する新役員

拡大に向けた決意を固めつつ、眞田議長が討論のまとめ、集約を行い、全体の拍手で運動方針が採択された。役員改選では、定数通りの立候補となり、無投票当選が確認された。【新役員体制】議長 高志(新鶴見信号所) 副議長 眞田 敏幸(新鶴見機関区) 眞田 郁夫(大宮車両所) 事務局長 因泥 一(黒磯機関区) 事務次長 工藤 隆志(吹田機関区) 【退任された役員】木元 昌(吹田機関区) 木村 忠義(千葉機関区)

# 19総がかり行動

## 東アジアに平和と友好を 安倍改憲は許さない

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と安倍改憲NO！全国市民アクション共催による「憲法審査会始動させるな！辺野古新基地建設やめろ！『嫌韓』もあるな！東北アジアに平和と友好！10・19国会議員会館前行動」が10月19日に開催され、労働者・市民2500人が参加した。

「19総がかり行動」は、4年前の2015年9月19日に「戦争法」が強行採決された事を忘れず、戦争法の廃止を求めて毎月19日に国会前にて開催されている。

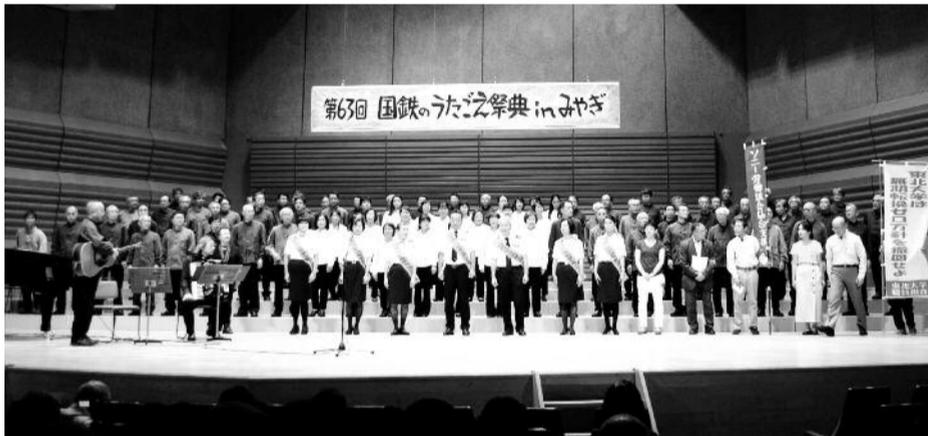
戦争法が強行採決された9月19日には、「戦争法強行採決からまる4年、大軍拡予算反対！韓国敵視を煽るな！安倍改憲NO！」と訴え、国会前での集いで、主催者を代表して高田健さんが、前日に菅義偉官房長官が記者会見で表明した、中東への自衛隊独自派遣について、「法的根拠もいまい加減なベテ」ともいえる自衛隊派遣を許さず、派遣を許さない取り組みを進めよう」と呼びかけた。

立憲野党からの連帯挨拶は、社民党の福島みずほ参議員、立憲民主党の石川大我参議員、日本共産党の田村智子参議員から、それぞれに台風災害、自衛隊の中東派遣問題、事前通告した国会質問が事前

に外部に漏れた問題、関西電力の原発マネー問題等に言及し、改憲に前のめりになる安倍政権の政治姿勢を厳しく批判し、憲法理念の実現をめざすことが重要と発言した。

続いて、反安倍行動を行ってきた韓国の市民活動家3名が紹介され、代表してグリーン・コリア代表のユン・ジョン・スクさんが連帯アピールを行った。アピールでは、8月15日に韓国で行われた反安倍行動に、総がかり行動等の日本の市民団体が参加し、連帯行動が取り組まれたことをとりあげ、「市民がつくる日韓関係が大切である」と述べ、「東アジアの平和と友好を築き、希望の時代をつくっていく」と呼びかけた。

その後、「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会、



### 第63回 国鉄のうたごえ祭典inみやぎ あつい想いを歌声に込めて

9月23日、仙台・日立システムホールで、「つなごれ！線路よ！故郷よ！あつい想いを歌声に込めて」と題し、国鉄のうたごえ祭典(実行委員長・五十嵐仙台地方本部委員長)が開催されました。

第一部は、宮城を中心に活躍している民族歌舞団「ほうねん座」のオーブニングから始まり、地元の歓迎演奏として、子どもたち30人を含めた100名の「組曲ぞうれっしやよ走れ」(戦後編)の演奏では、戦後直後のGHQの支配下で、子どもたちの願いを乗せて、名古屋の東山動物園に臨時列車を走らせた史実(国鉄職員が力を尽くした)を平和への願いを込めて歌われました。

つづいて、国鉄広島ナツパーズの「がみさん」こと山上茂典さんのオンステージでは、自身が働くJR西日本の再雇用制度の実た祖父(元国鉄労働者で震

第1部は、宮城を中心に活躍している民族歌舞団「ほうねん座」のオーブニングから始まり、地元歓迎演奏として、子どもたち30人を含めた100名の「組曲ぞうれっしやよ走れ」(戦後編)の演奏では、戦後直後のGHQの支配下で、子どもたちの願いを乗せて、名古屋の東山動物園に臨時列車を走らせた史実(国鉄職員が力を尽くした)を平和への願いを込めて歌われました。

つづいて、国鉄広島ナツパーズの「がみさん」こと山上茂典さんのオンステージでは、自身が働くJR西日本の再雇用制度の実た祖父(元国鉄労働者で震

安保関連法に反対するママの会@ちばから、取り組みの報告と要請が行われた。最後に集会参加者2500人が、国会に向い「東アジアに平和と友好！安倍改憲は許さない！」とコールし集会を終えた。

## 10・1 神奈川集会

### 横須賀の原子力空母母港化反対

神奈川県平和運動センターと三浦半島地区労センター主催の「10・1原子力空母母港化反対」が、10月1日に横須賀市のヴェルニ公園で開催され、労働者・市民1400人が結集した。

主催者を代表して、神奈川県平和運動センター代表の福田護弁護士(国労弁護団常任幹事)が挨拶に立ち、2015

年の安保法制成立以降、日米軍事一体化が進み、海外派兵への歯止めがなくなっている現状を批判した。

続いて連帯挨拶が行われ、平和フォーラムの藤本泰成共同代表は、南シナ海での日米共同軍事訓練やアフリカのジブチに建設された陸上自衛隊の基地にふれ、「対中国を意識した軍事拡大路線が日本の安全保障に危機を招いている」と、日本の防衛政策を批判。「韓国や朝鮮民主主義人民共

和国と対立し、戦前の日本社会を美しいと考えている安倍首相の政治姿勢を許さず、侵略戦争・植民地支配の歴史に対する反省をふまえて未来を作り上げていくことが大切だ」と訴えた。

北海道平和運動フォーラムの長田秀樹代表は、「全国基地問題ネットワーク」を代表して登場。全国基地ネットワークの経路を紹介し、「在日米軍および自衛隊基地に対する闘いを強化していく」と力強くアピールした。また、「北海道、長射程の高機動ロケット砲システム(HIMARS)の射撃訓練が米陸軍と陸上自衛隊共同で行われた。来年1月にはオスプレイが参加しての日米共同訓練が計画されている」ことを報告し、全国で日米共

同訓練が進められている現状に對して、連帯して闘う必要性を訴えた。

平和センター関東ブロック代表で埼玉平和運動センターの持田明彦議長は、「千葉県の大規模な台風災害をはじめとして、全国で豪雨災害等が繰り返されているなか、人びとが安心して生活できる環境をいかに作っていくかが政府に求められている」としたうえで、「海に浮かぶ原子炉といわれる原子力艦船の災害対策が全く十分でない」と批判した。

厚木基地と横須賀の市民団体からの現地報告のあと、厚木基地爆音防止期成同盟の石郷岡忠男委員長は、「全国の米軍基地等で行われている基地訴訟で、判決が国寄りになっ

ており、厚木での第5次訴訟を頑張っていきたい」と決意を表明した。

ヨコスカ平和船団の新倉裕史さんは、「1966年に初めて原潜スヌークが横須賀に入港して以来、原子力艦船の入港が999回にもなっている。米海軍や日本政府はこの間一度も事故を起こしていないとしているが、市民団体の調査で多くの事故が発生している事実は明らか」とし、パネルにした事故年表を示しながら説明した。

最後に集会アピールを採択し、反核平和の火リレー実行委員会の矢崎雄雄副代表のシユプレコールで集会を終えた。

集会後、参加者は横須賀市内をデモ行進しながら、原子力空母の母港化撤回を訴えた。



国会前でアピールする参加者



国会前に参加した国労組合員

# 全労協第31回定期全国大会

## 労働組合の存在感を高めよう

全労協第31回定期全国大会が9月29日～30日に東京都内の大田区産業プラザPioで開催され、2日間の討議を経て、議案と決算、予算案が採択された。

役員改選では、渡邊議長・中岡事務局長が再任された。国労からは副議長だった松川本部執行委員長が退任し、佐藤本部書記長が副議長に就任し、常任幹事は瀧口本部執行委員が再任された。

大会は中里副議長の開会挨拶と司会で進行された。

議長団に全水道東水労の小松原代議員、全国一般全国協の澤口代議員が選出され、以降の議事が託された。

主催者を代表して渡邊議長が、「この1年に安倍政権下で進んだ労働者の厳しい現状、そして改憲に固執する安倍首相の暴走を労働組合としてどうのように関わることが問われて



議案を提案する中岡事務局長

され、会計監査報告を受け2日間の討議に移った。

主な発言は、外国人労働者・技能実習生の悲惨な状況を改善させる闘い。非常勤公務員の会計年度任用職員への転換で、千葉市の図書館に勤務する組合員が雇用継続を実現させた闘い(全統一労組)。

7月の参議院選挙に立候補して闘った経験(東京三多摩全労協)。東京電力福島第一原発事故に関わる被爆労働と過労死裁判の闘い(全国一般)。

静岡県立大学の雇止めに対する闘い(静岡県共闘)。全日建連帯労組関西生コン支部への異常な刑事弾圧、組織破壊攻撃との闘い。政府の高校無償化や保育園無償化への朝鮮人学校排除との闘い(大阪全労協)。

労働基準監督署の申告者に対するさまざまな対応に対する抗議行動(ユニオンネット)。

埼玉。JAL不当解雇撤回支援する会の立ち上げ(神奈川県共闘)。ユニオンテッド航空労組。アスベスト暴露被害と補償を求める闘い(全国一般)。

報告。郵政民営化による利益第一主義が大規模な「かんぼ」生命の不正事件の原因(郵政

## 全労協結成30周年記念レセプション

全労協大会1日目終了後の9月29日に全労協結成30周年記念レセプションが大田区産業プラザで開催され、200名を超える参加者で賑わった。

レセプションは中岡基明事務局長と柚木康子常任幹事の司会で進行された。

主催者を代表して渡邊議長が全労協30年の歴史と功績を振り返ると共に、「労働組合自身の存在がこの社会から失われつつあることを、全労協自身の問題として捉え直さ



就任挨拶する佐藤副議長

犠牲となった朝鮮人の慰霊碑を群馬県が撤去しようとしていることに反対する裁判について発言した。

2日間で20名の代議員の発言を受け、中岡事務局長の「全労協運動の核心である非正規労働者の処遇改善と権利拡大、そして国際連帯の実践が確実に前進していることが確認できる。市民運動との連帯や地域共闘を強化し、労働組合の存在感を高めていこう。また、安倍政権の大企業・富裕層のための政治弱者切り捨てや改憲攻

最後に再任された渡邊議長の決意表明のあと、佐藤新副議長の開会挨拶、議長と団結ガンバローを三唱して大会は成功裡に終わった。

全労連の小田川義和議長、平和フォーラムの勝島一博事務局長、社民党の福島みずほ参議院議員、日本労働弁護団の栗一郎幹事長から来賓の挨拶を頂き、藤崎良三顧問の乾杯で歓談に入った。

歓談の合間に、参加して頂いた保坂展人世田谷区長などの挨拶を受け、最後に全労協の初代事務局長で国労本部書記長を務めた宮坂要さんと、宮里邦雄弁護士から激励の挨拶を受け、盛会のうちにレセプションを終えた。

なればならない。全国の闘いに機敏に呼应し、私達がそれぞれの持ち場で原則的に闘い、労働組合としての発言力を増していく事で、日本労働運動の再生を勝ち取ることが出来る。全労協はその重責を今後も担っていかねばならない」と挨拶した。



主催者挨拶する渡邊議長

において、台風15号および19号による被災者の生活支援や安心・安全の確保、さらに被災地の復旧・復興に向けて、組合員を対象とした全国的なカンパ活動を行うことを確認した。各級機関においても、喫緊となるが、以下の通り、早急に取り組むこと。

1. 取り組み方法
2. 集約日は11月末日までとする。
3. 集約されたカンパについては東日本本部とも協議した上で取り扱いを行う。

## 指示第22号(2019年10月15日)

台風15号および19号による被災に対する緊急カンパの取り組み(要旨)

9月9日に関東地方を襲った台風15号による住宅被害は1都7県で、これまでに確認されただけで計4万511棟にのぼり、千葉県で観測された最大瞬間風速は57.5メートルを観測した。9月9日午前7時50分

には、関東地方で、最大約93万軒で停電となったが、これは2011年の東日本大震災以降では最多の軒数となる。

発災から1ヶ月以上が経ついまも、50軒近い住宅で停電が続き、復旧の見通しもたないまま、多くの被災者が被害を受けた住宅での不自由な生活を余儀なく

本部は、10月15日に開催した第4回中央執行委員会

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

**NEW!** 生きるためのがん保険 Days1

アフラックはがん保険契約件数 **No.1**

アフラック 東京第二法人営業部  
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

アベニール株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

●契約年齢:0歳～満85歳まで●

《生きるためのがん保険Days1》スタンダードプラン入院給付金日額10,000円  
保険期間:終身(抗がん剤・ホルモン剤治療特約)(がん先進医療特約)は10年更新

診断	それぞれ1回限り がん 50万円 一時金として 上皮内新生物 5万円	手術	1回につき 20万円	がん先進医療 がん先進医療給付金 1回につき 先進医療にかかる技術のうち 自己負担額と同額 がん先進医療一時金 1回につき 15万円
特定診断	1回限り がん 50万円 一時金として	放射線	1回につき 20万円	
入院	1日につき 10,000円	抗がん剤・ホルモン剤	治療を受けた月ごと 10万円(給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんの ホルモン剤治療のとき 5万円(給付倍率1倍)	複数回診断 1回につき がん 50万円 上皮内新生物 5万円
通院	1日につき 10,000円			特定保険料 特定保険料 払込免除

※1 再発・治療の長期化  
※2 がん  
※3 免除事由に該当後の保険料は  
いたしません。